

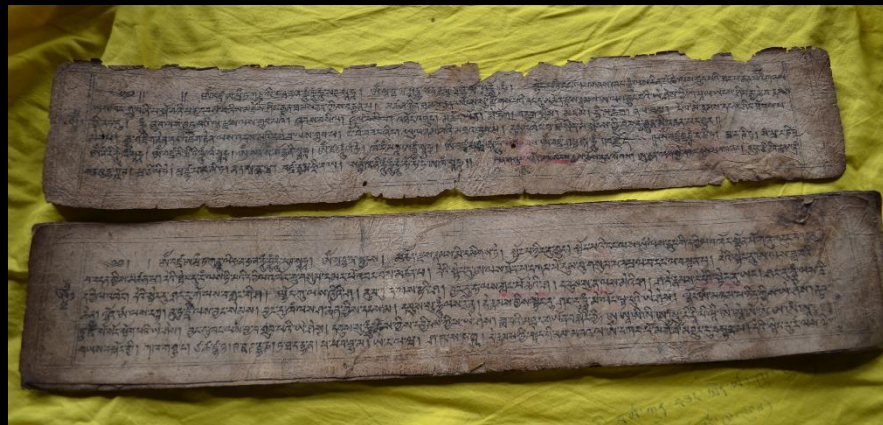


KOKORO  
RESEARCH  
CENTER  
KYOTO UNIVERSITY

2017年7月30日(日)@京都大学百周年記念時計台ホール  
京都大学こころの未来研究センター 創立十周年記念シンポジウム



# 古文書からこころを読み解く



熊谷誠慈

京都大学こころの未来研究センター  
上廣倫理財団寄付研究部門 部門長／特定准教授

# こころとは何か？

様々なこころのアプローチ方法がある  
(脳科学や心理学など)

本発表では、古文書を通して、  
こころとは何かを読み解く方法を紹介

# 文献学でこころは解明できるのか？



こころの文献学の利点と難点を考えてみたい

# 難点：文献研究の何が限界なのか？

## ①時代が限定的

→文献学が扱うのは過去の文献

（リアルタイムのこころの正確な特定は困難）

## ②情報の種類が限定的

→文書化される情報は限定的

（古代の庶民のこころの正確な特定は困難）

**古文書に書かれている情報は、  
古代社会の一部であり、全てではない。**

## 文献研究のメリットとは？

- ・古き時代の情報を多く回収できる  
（\*文字が誕生した時代以降に限定）
- ・現代人のこころの基層ともなる古き時代の「こころ」の普遍性と特殊性を読み解くことができる  
⇔古代人の「こころ」はMRIや質問紙でも調査不可

【例】3000年前の人類は「ころ」についてどう  
考えていたのか？

- ・日本：縄文時代 ⇒ 文献学的に特定不能
- ・チベット：先史時代 ⇒ 文献学的に特定不能

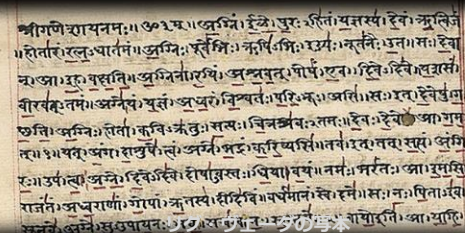
## ○古代インド

### 『アタルヴァヴェーダ』 (BC 10世紀)

5つの感覚器官 (眼・耳・鼻・舌・身) と 6番目の心 は、祈願文により体内で鋭敏になる。

### 『リグヴェーダ』 (BC 13世紀)

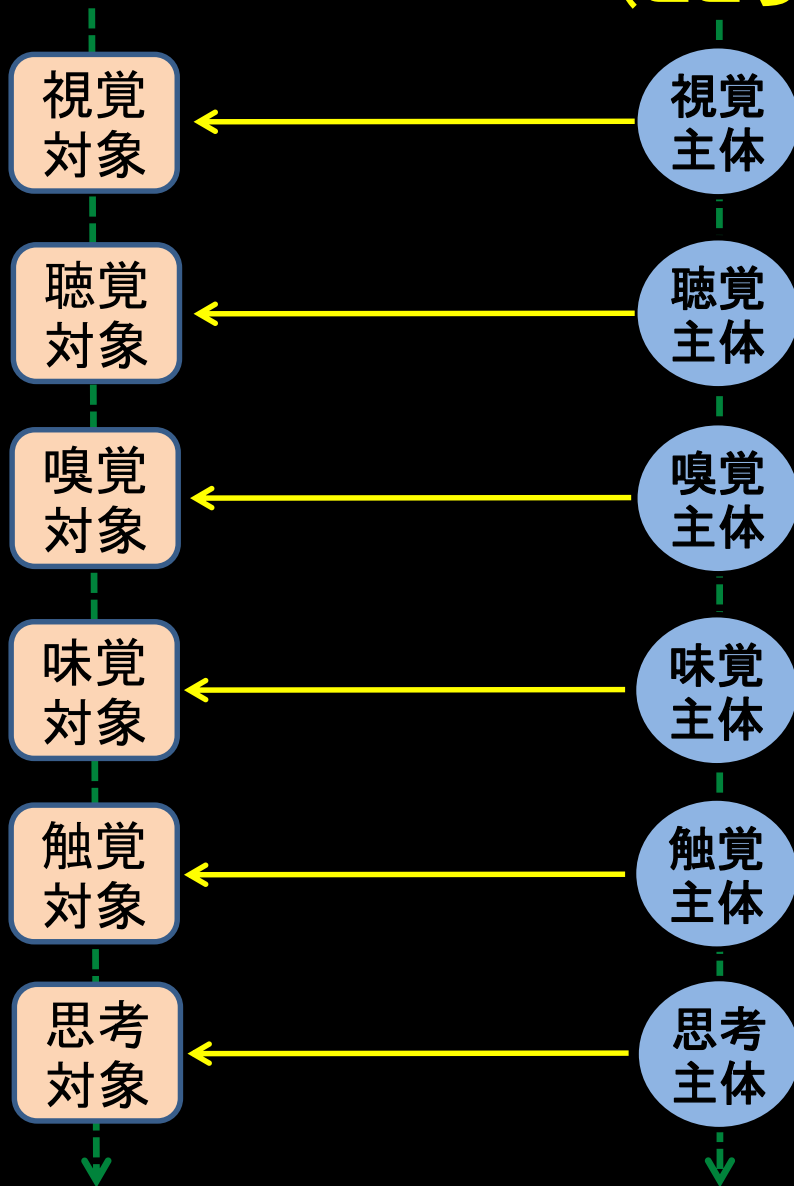
河川のごとく、靈感の言葉は合体して流れ出ず、内部において 心 (情感) と 意 (思考) とにより浄化されて…



# 認識の構造

## 認識対象

## 認識主体 (こころ)



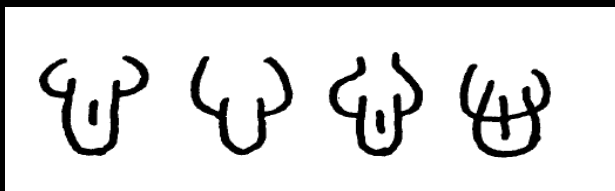


○古代中国 (BC 10世紀頃から精神的な心の概念が登場)

※金文(BC 11世紀頃～)

甲骨文字(BC 14世紀～)

心



金文の「心」字  
工楽英司『甲骨文字雑考Ⅱ『心』』1975年



甲骨文字の「心」字  
落合淳思『甲骨文字小字典』2011年

慶



「心」

\*精神



「心臟」

\*物質／臓器

# 文献研究のメリットとは？

古文書を通じて  
「ころ」という概念の誕生した時期や  
時代的な展開を特定できる

古文書を読み解くことで  
ころを読み解くことができる

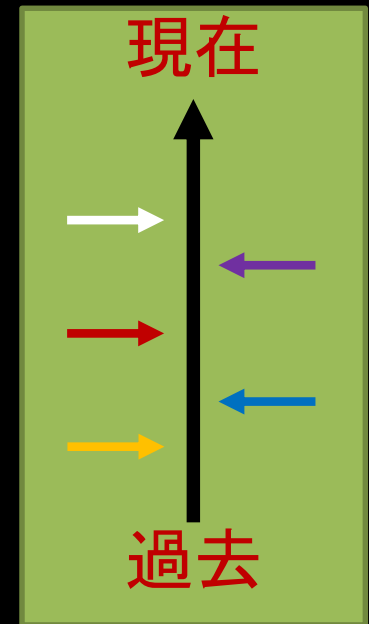
# こころとは誰のものか？

「私の心は私のものだ！」

「日本人の心は日本人のものだ！」

→よく見てみると、日本人の精神性の  
多くの部分は外来のもの  
(他国と共通するところ)

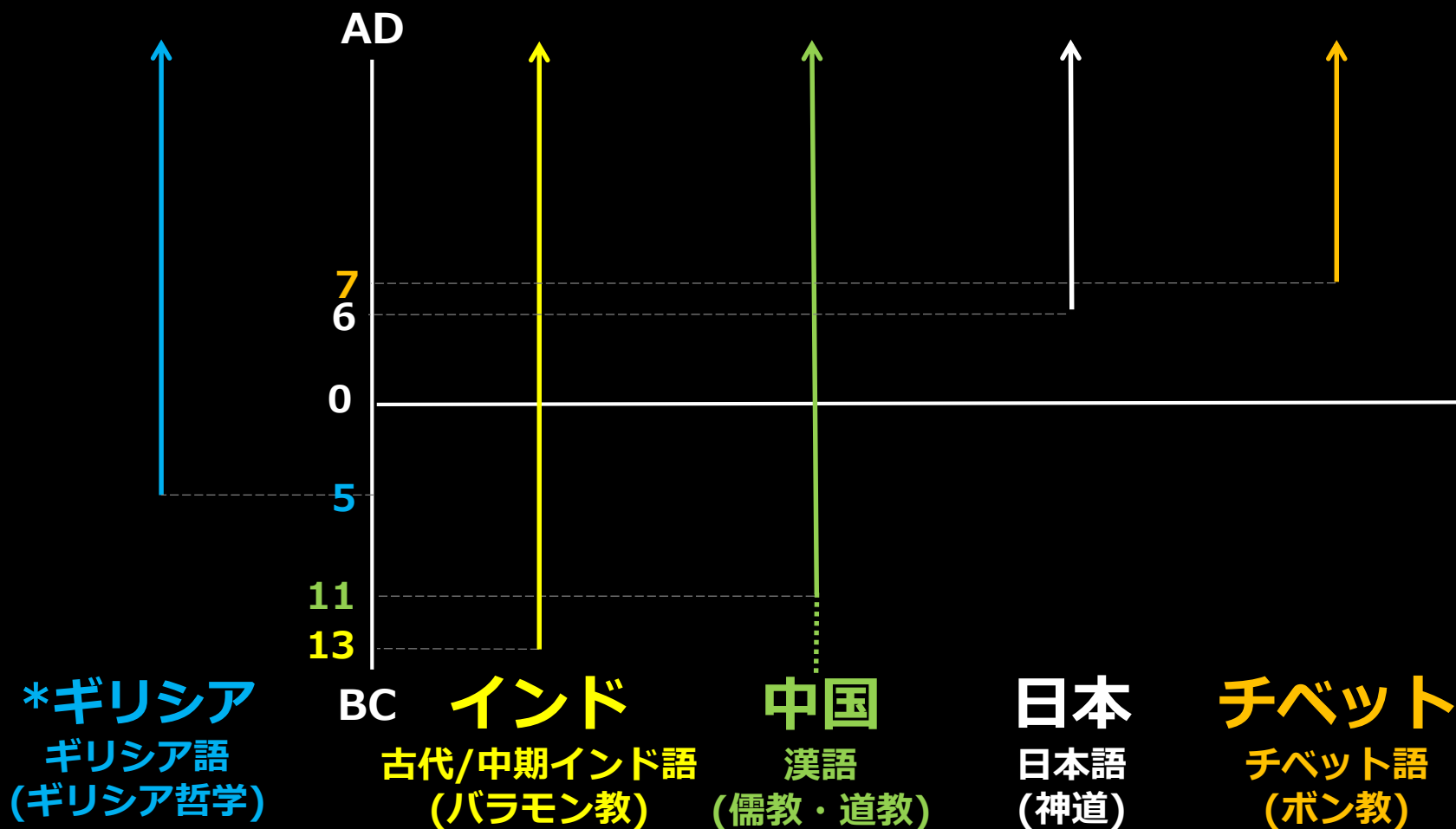
複雑な精神性をどう調査すべきか？



日本人の  
精神性

精神性の成り立ちを調査するためには？

# 【研究手法①】 各地域の言語／宗教における「こころ」の語義の変化を起源から追う（縦のライン）



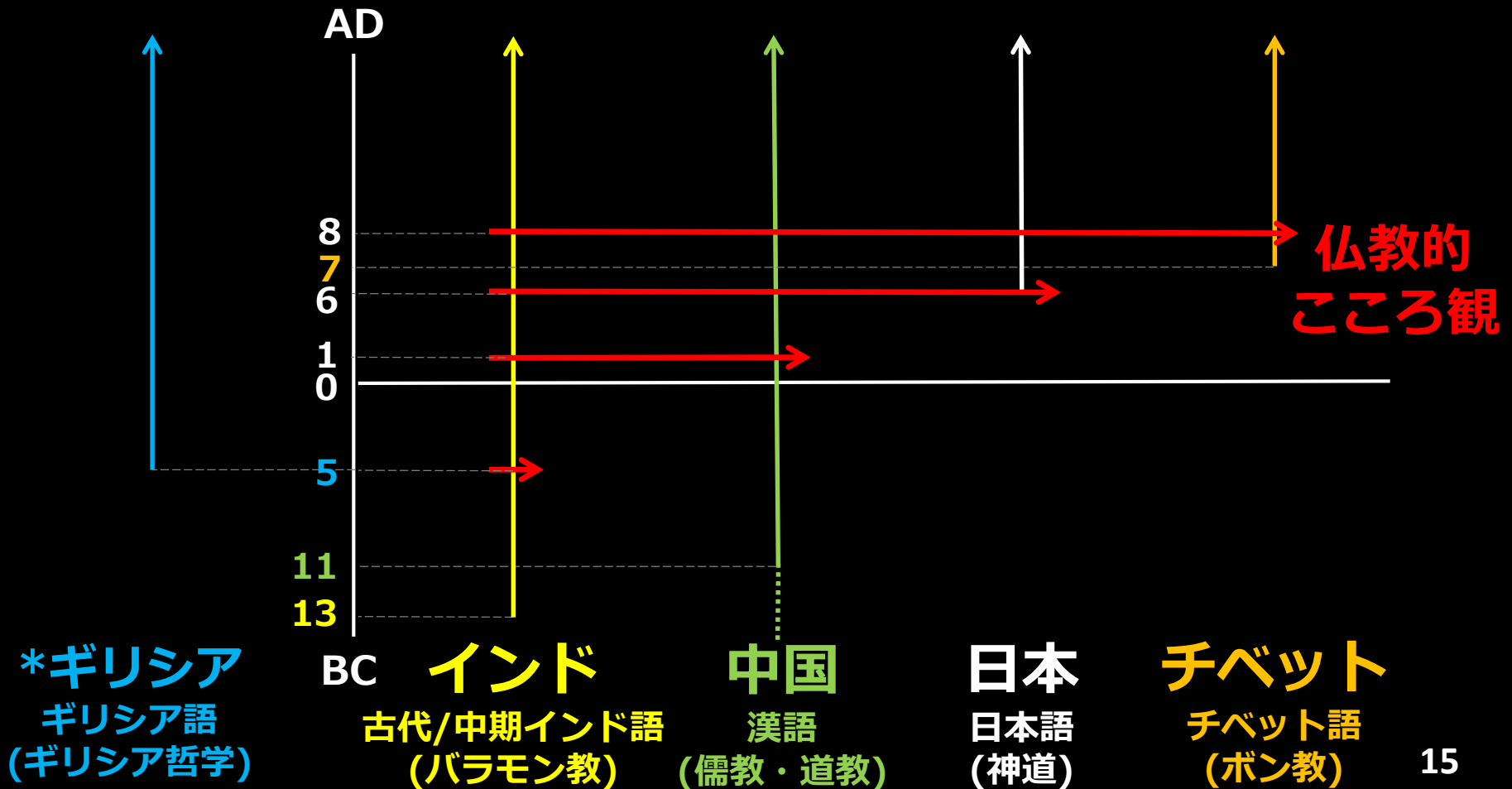
外来的な精神性を調査するためには？

||

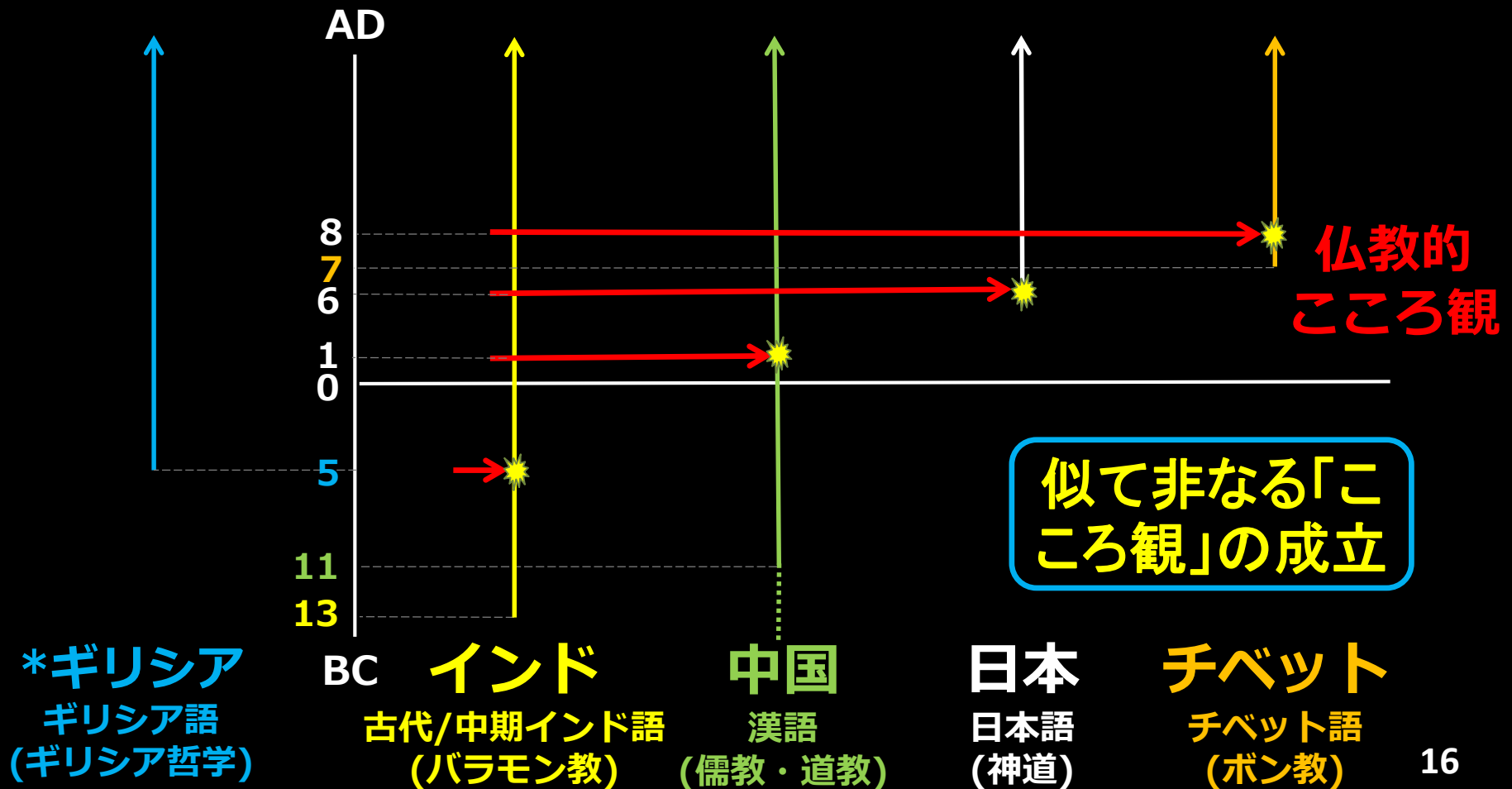
他国と共通する「こころ観」を調査するためには？

南アジアから極東に関しては、  
仏教（近代以前のグローバル哲学・心理学）  
に着目するのが効果的

# 【研究手法②】 各言語文化圏を超えて存在する「こころ観」として仏教思想に着目（横のライン）



【研究手法③】 縦のライン（時間的／個別性）と横のライン（空間的／共通性）との衝突に注目。

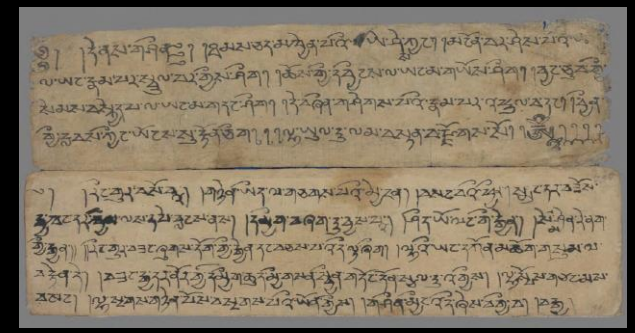




# ○仏教との衝突による精神性の変容の一例

## ・敦煌文書

→7世紀に仏教がチベットに伝わり、10世紀頃にかけて、倫理観の変容が起こる。



(Pelliot No. 239) \*今枝・西田・熊谷グループで研究中

→7世紀から10世紀の間に、生贄の価値が逆転。  
(生贄を心のよりどころとしていたチベット人が、生贄に嫌悪を抱くようになった)

**他の仏教国でも同様の変化が起こったのでは？**

(倫理観の輸入・共有の時代的特定が可能)

仏教のどの宗派の思想が共有されたのか？

		インド	チベット	中国	日本
奈良 仏教	倶舎宗	○	○	○	○
	成実宗	○	○	○	○
	法相宗	○	○	○	○
	三論宗	○	○	○	○
	律宗	○	○	○	○
	華嚴宗	×	×	○	◎

平安 仏教	天台宗	×	×	○	◎
	真言宗	○	○	○	○

\*『八宗綱要』: 東大寺僧・凝然 (1240~1321) の著書

# アジア的なこころ観の共通性とは？ (南アジアから極東に限定)

俱舎宗(\*小乗)と法相宗(\*大乘)の  
存在論哲学に着目

# ○俱舎宗(\*小乗)における存在の区分

法(存在要素):75要素

├ 無為(原因・条件によって作られないもの):3要素

├ 有為(原因・条件によって作られるもの):72要素

├ 色(物質的要素):11要素

├ 心:1要素

├ 心所(心の作用):46要素

├ 心不相応行(物質でも精神でもないもの):14要素

**全存在要素の  
3分の2が心に関連**

**南アジア・東北アジア・東アジア・日本に共通**

(\*大乘仏教の法相宗も、類似する存在論を提示)

(\*\*ボン教も、類似する存在論を提示 \*Kumagai 2016, 2017)

# 「こころ」の日本的特徴とは？

- ①「こころ」の適用範囲の広さ
- ②日本仏教的な「こころ観」

# ①「こころ」の適用範囲の広さ

→仏教をフィルターとして日本の「こころ」の適用範囲の広さを確認

- ・人間の「こころ」
  - ・動物の「こころ」
- } 他国の仏教と共通
- ・植物（草・木）の「こころ」
  - ・モノ（山・川）の「こころ」
- } 日本に特徴的

\*安然(841-915?)「草木国土悉皆成仏」

\*\*理論的には中国で成立したが、日本で根付いた。

日本の「こころ」は他国の「心」よりも  
適用範囲が広い

②日本仏教的な「こころ観」 \*仏教をフィルターとして、古き日本の心性が見えるのではないか

		インド	チベット	中国	日本
奈良 仏教	俱舎宗	○	○	○	○
	成実宗	○	○	○	○
	法相宗	○	○	○	○
	三論宗	○	○	○	○
	律宗	○	○	○	○
	華嚴宗	×	×	○	◎
平安 仏教	天台宗	×	×	○	◎
	真言宗	○	○	○	○

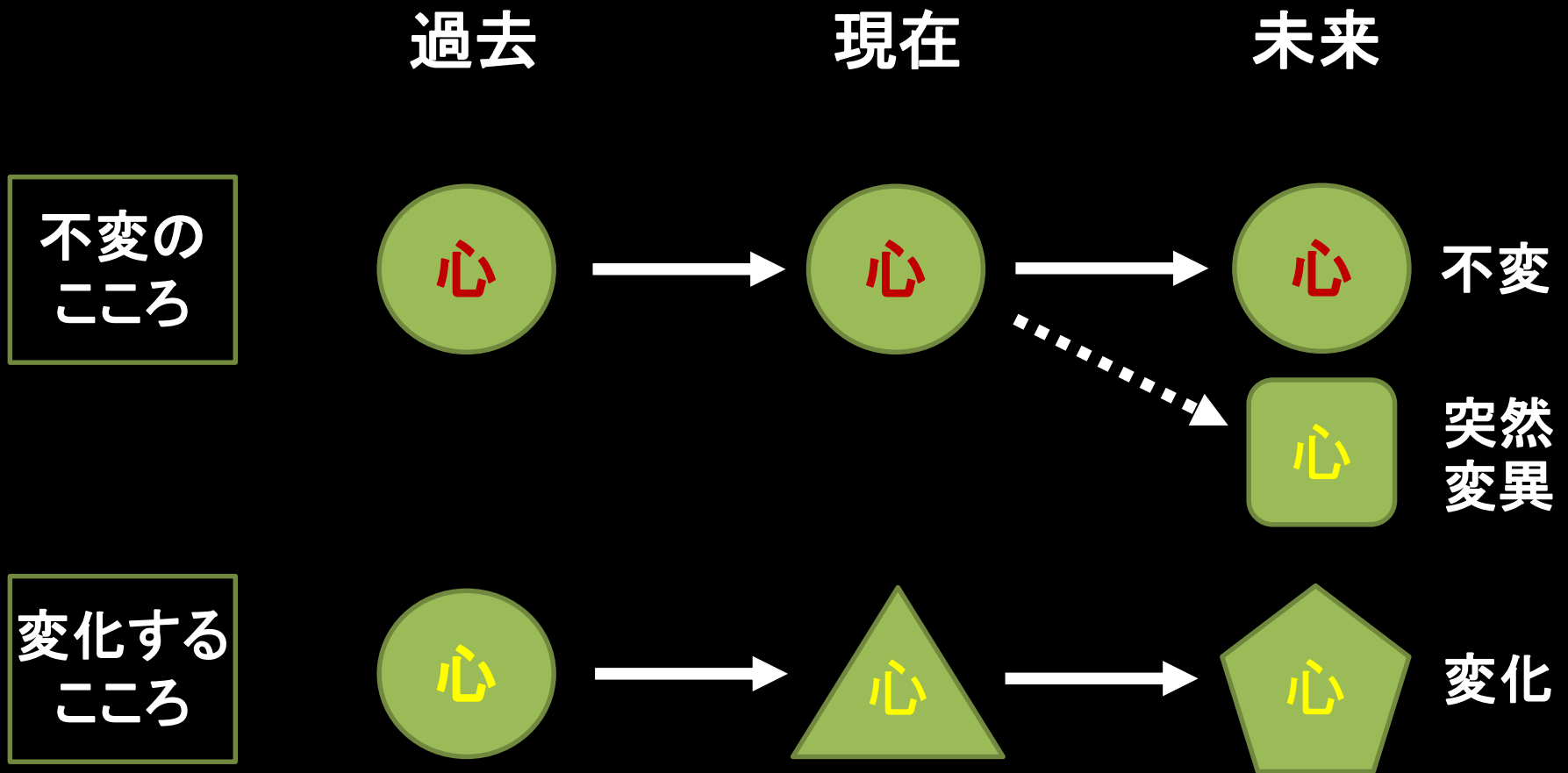


古代の「ころ」を理解したところで、現在や未来の私たちの社会生活に何の意味があるのか？

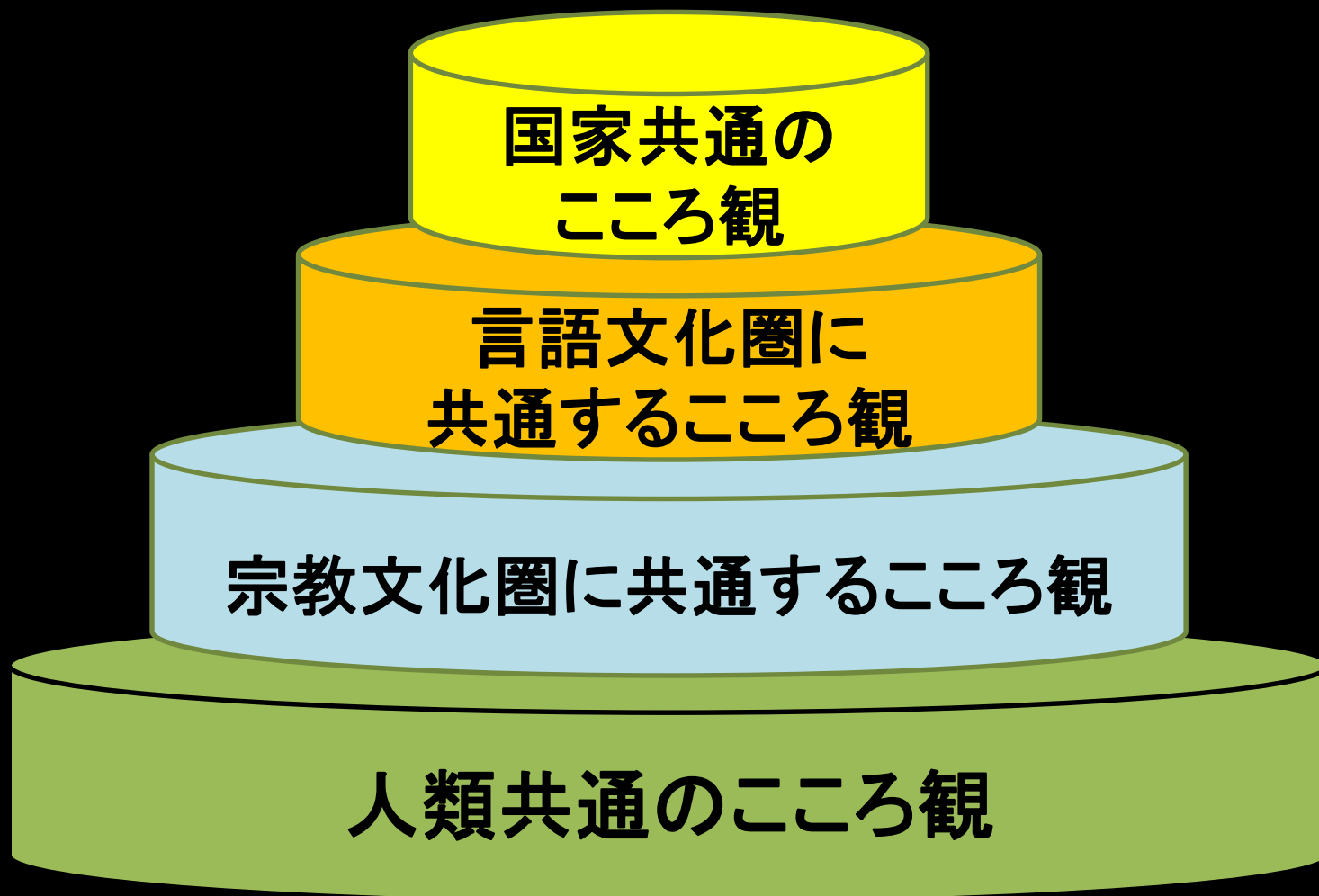
\*古代のアイデア：洗練されておらず、現代・未来社会には役立たない

\*現代のアイデア：洗練されており、現代・未来社会に役立つ

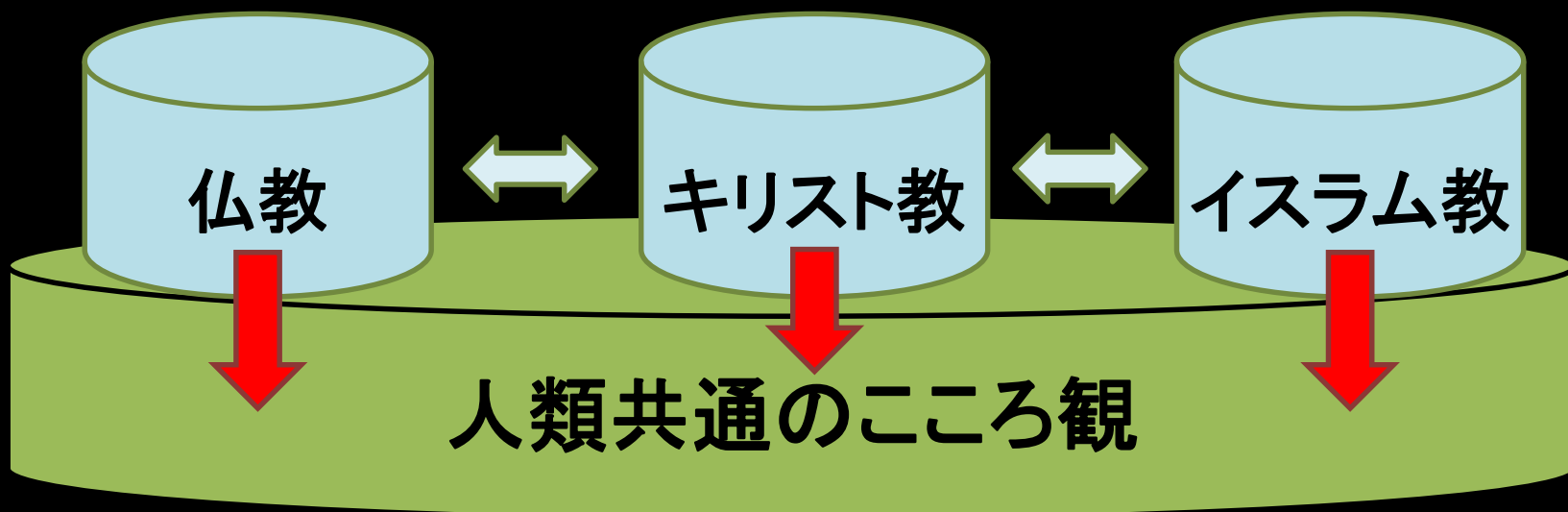
# ◎「過去の心」から「未来の心」を予測



## ◎こころの普遍性・特殊性から異文化理解へ

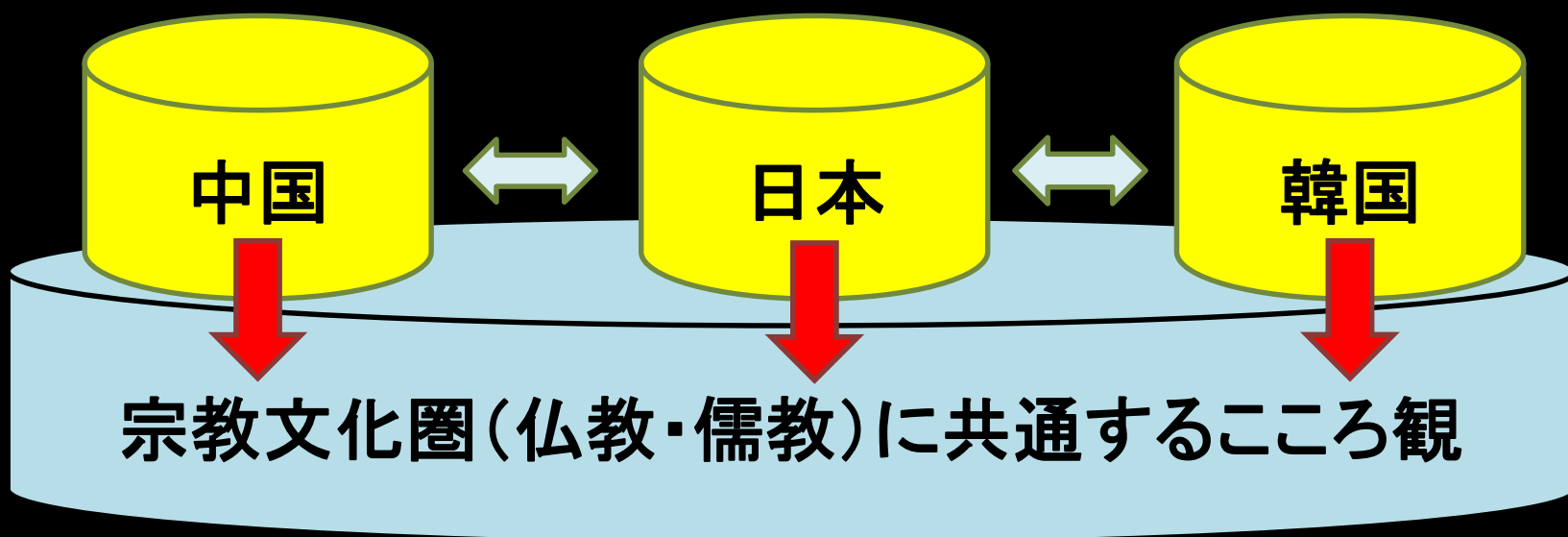


## ◎宗教対立が起こったならば、、、



宗教同士の教義で対立しても、  
人類共通のこころ観の層で対話が可能

## ◎国家同士の対話にも有効

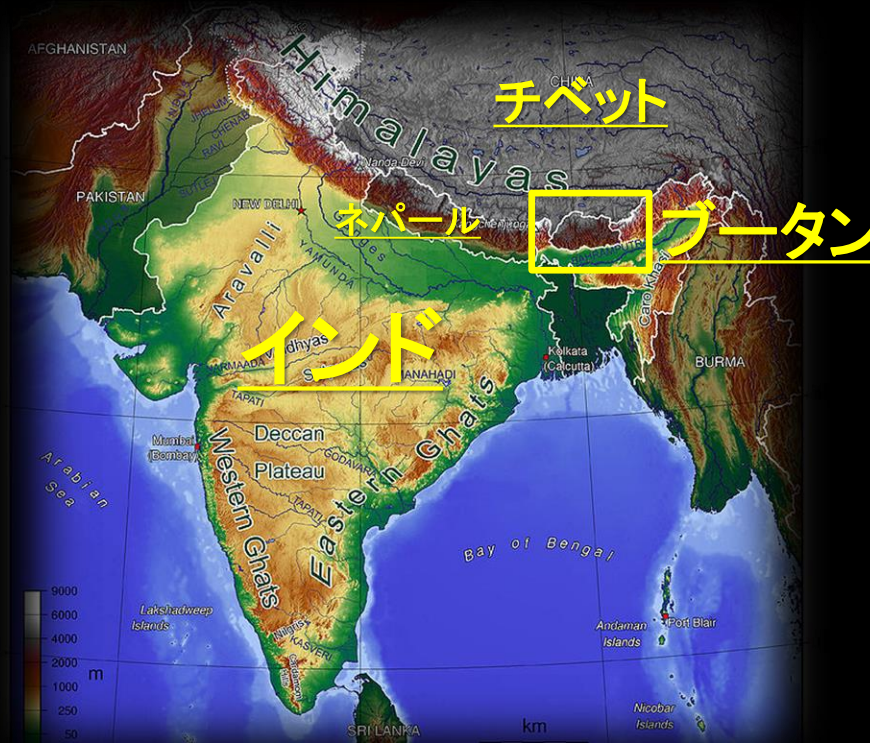


国家同士で対立しても、  
伝統的な精神性の層で対話が可能

古代の精神性を  
現在の国政に応用している例がある



ブータン王国に着目



## (例) ブータン王国憲法第9条第20節

ブータン王国は、仏教の倫理そして普遍的な人間の価値に根ざした慈愛に満ちた良き社会の持続可能な真の発展を可能にする状態を作るよう努力しなければならない。

### → 仏教的倫理の国政応用

\* 仏教哲学・仏教倫理(非宗教的側面)のみを応用し、信仰(宗教的側面)と切り離している点に注意。

# ○ブータン王国の最重要政策：GNH(国民総幸福量)

- ・教育
- ・生活水準(≒経済)
- ・健康
- ・心理的幸福
- ・コミュニティの活力
- ・文化的多様性・弾力性
- ・時間の使い方
- ・良い統治
- ・生態的多様性・弾力性



⇒各領域が11.1%のウェイトを持つ

経済一辺倒ではない「中道」、各領域が相互依存している  
「縁起」という仏教思想に基づく



## GNH:ブータン限定では？

- 国連などでも注目（2012年：国際幸福デーの採択）
- 日本でも東京都荒川区が、2012年より荒川区民総幸福度（GAH: Gross Arakawa Happiness）の調査を開始し、区政に応用。  
→「幸せリーグ」には全国100近くの地方自治体が加入。

**本日紹介した「古代の仏教的精神性」は、間接的に「いま現在の日本の社会」にも応用されている。**

# 古代の精神性の現代社会への発信

## ◎一般公開型の研究会・講座

- ・京都大学ブータン研究会
- ・ヒマラヤ宗教研究会
- ・ブータン文化講座
- ・日本仏教をゼロから学ぶセミナー



## ◎上廣倫理財団寄付研究部門

こころと倫理に関わる学際的研究  
および社会発信・社会還元



# 研究ネットワークの構築

◎複数国のブータン研究者と協同し、国際ブータン学会を設立(2015年)



# 総括

## ◎こころの文献学的研究

### ①言語文化圏ごとの「こころ観」研究

⇒土着宗教の文献が有用

### ②言語文化圏を超えた普遍的な「こころ観」研究

⇒普遍宗教・哲学の文献が有用

⇒南アジア以東では「仏教」が有用

# 総括

## ◎古代のこころの現代社会・未来社会への応用性

- ①**世界レベル**: 国連など(世界幸福デー)
- ②**国レベル**: ブータンGNH(国民総幸福)
- ③**地域レベル**: 幸せリーグ(東京都荒川区を中心に)

# 総括

古代のこころから未来のこころの予測へ

普遍的なこころ観から異文化理解へ

# ご清聴ありがとうございました

**【謝辞】以下の皆様方のご支援・ご協力に感謝申し上げます**

公益財団法人上廣倫理財団

王立ブータン研究所

王立ブータン大学言語文化学カレッジ

オックスフォード大学OPHI ほか